

○ サイバー攻撃 大損害備え 英損保大手、世界初の大災害債（23/2/8 日経朝）

- ・ 世界の損保会社がサイバー攻撃による巨大災害への備えを急いでいる。英損保大手ビーズリーが 1 月に世界で初めて投資家がサイバーリスクを引き受ける大災害債を発行した。英ロイズ保険組合は 3 月末から国家が関与したサイバー攻撃の免責条項を求める。地政学リスクの高まりで重要インフラへのサイバー攻撃が増えるとみている。
- ・ これまで大災害債は風水害や地震を対象にしてきたが、世界で初めてサイバー攻撃を対象に発行した。再保険市場の仕組みだけでは不十分とみて、機関投資家にリスクを移転する仕組みを構築した。
- ・ 世界の保険がサイバーリスクへの警戒を強めるのは、サイバー攻撃の損害範囲が拡大しているため。データを暗号化して企業に金銭の支払いを要求するランサムウェアや、機密情報を窃取して転売するといった手口が広がる。
- ・ 国内の損保では 15 年ごろからサイバー保険の販売を始めており、足元で企業の加入率は 1 割程度。ロイズが国内損保の免責条項を不十分と判断すれば、4 月 1 日の再保険契約の更改以降、補償範囲が明らかに戦争ではない事故のみに狭まる懸念がある。
- ・ サイバーリスクの大規模化を受け、保険料の値上げも進む。マーシュの調査を基に試算すると米国における 1 件当たりの保険料率は 22 年末時点で 2 年前に比べて 2.9 倍に上昇した。
- ・ 海外ではリスクを官民で分担する議論も始まる。サイバーリスクの増大は損保業界にリスク管理の再考を迫っている。

○ 「空飛ぶクルマ・産業用ドローン事業におけるリスクマネジメントチェックブック」を無償公開 次世代航空事業者のリスク管理を標準化し安全性確保へ 東京海上日動（23/2/9 ニュースリリース）

- ・ 東京海上日動と三菱総合研究所が共同で事務局を務める「空飛ぶクルマ・産業用ドローン事業におけるリスクマネジメント検討会」は、産業用ドローン等の無人航空機の運航に係るリスクを評価し、実用化・事業化へ向けて対策を行うための「空飛ぶクルマ・産業用ドローン事業におけるリスクマネジメントチェックブック（以下、本チェックブック）」を無償で公開する。
- ・ 2022 年 12 月に改正航空法が施行され、有人地帯上空での補助なし目視外飛行（レベル 4 飛行）が実現したことにより、急速に拡大するドローンの活用や、将来の空飛ぶクルマの活用を見据えたリスクマネジメントが求められている。2021 年度に東京海上日動の提唱により設立された「リスクマネジメント検討会」では、東京海上日動と三菱総合研究所が共同に関連する産業の事業者や研究者、法曹界等の多面的な産官学と連携し、国内外で進展するドローンおよび空飛ぶクルマの実用化・事業化に向けた環境を整備するために、リスクを網羅的に列挙・整理した基礎資料の作成を検討してきた。今般、リスクマネジメント検討会は、広く無人航空機を運航する事業者にも使用してもらうことで、リスクチェックの質を標準化し、社会受容性の向上のために必要な安全性の確保に貢献するため、本チェックブックを無償で提供することとした。
- ・ 本チェックブックは、国内の民間事業者が無人航空機または空飛ぶクルマを運航するにあたり、発生しうるリスクを以下の項目ごとに把握し、対策を行うためのもの（5 分類、約 200 のチェック項目で構成）。
 - ①安全管理体制の定期的な確認：運航事業者の安全管理体制が確保されているか。
 - ②地上リスク（地上の被侵害利益）：無人航空機および部品や積載物が落下した場合に地上に及ぼしうるリスク

- ③空中リスク（その他の航空機）：有人航空機やそのほかの無人航空機をはじめ飛行体との空中衝突に繋がらるリスク
- ④運航におけるその他の第三者権利の侵害リスク：プライバシー及び財務など、第三者の権利の侵害を含むリスク
- ⑤その他の事業者自身にとってのリスク：運用を行う上で事業者財務面に発生する損失など、事業者の運航リスク

○ 二輪車向け自動車保険「バイク安心+（プラス）保険」を販売 三井住友海上 (23/2/10ニュースリリース)

- ・ 三井住友海上とセブン&アイ・ホールディングス傘下の株式会社セブン・フィナンシャルサービスと株式会社セブンドリーム・ドットコムは、セブン-イレブンの店舗サービスを通じて二輪車の自賠責保険に加入した方を対象に、二輪車向け自動車保険「バイク安心+（プラス）保険」の販売を2022年12月から開始した。
- ・ 近年、バイク通勤など「密」を避ける移動手段やEC、デリバリーサービスの短距離輸送手段として二輪車の利用価値が高まり、二輪車ユーザーが増加している。一方、二輪車の自動車保険普及率は約45%と、四輪車（約80%）に比べて低いことが課題の一つとなっている。そのような中、二輪車ユーザーにより多くの自動車保険の加入機会を提供するため、取扱代理店であるセブン・フィナンシャルサービス、セブンドリーム・ドットコムと共同で、二輪車向け専用の自動車保険「バイク安心+（プラス）保険」の販売を開始した。
- ・ 「バイク安心+（プラス）保険」は、自賠責保険では補償されない対物賠償や事故時のロードサービス費用を補償する自動車保険。事故の相手方との示談交渉サービスも自動セットされている。販売対象は、セブン-イレブンのマルチコピー機やWEB予約を通じて、二輪車の自賠責保険に加入した顧客となるが、本保険は上記販売対象の顧客へ個別に案内するもので、店頭販売は行っていない。
- ・ 保険期間は1年間で、補償内容としては、対人賠償責任無制限、対物賠償責任1,000万円（免責金額なし）、対物超過修理費用特約及びロードサービス費用特約が自動付帯となる。
- ・ 排気量や年令条件などを選択するだけで、保険料の見積りができるサイトへアクセスする二次元コードを対象のお客さまへ案内する。加入希望の顧客が氏名や住所、車両情報などを申告すると、取扱代理店（セブン・フィナンシャルサービス）からスマートフォンに、オンラインで完結する手続き用URLをSMSで送付する。契約には、非対面で手続きが完結する「自動車かんたんネットリモート」を活用する。

○ 防災・減災プラットフォーム「cmap」アプリに天気予報などの生活指標を搭載 あいおいニッセイ同和 (23/2/13 ニュースリリース)

- ・ あいおいニッセイ同和は、リアルタイム被害予測ウェブサイト「cmap（シーマップ）」アプリに、天気予報や道路渋滞情報など日常生活に役立つ情報を2023年2月より搭載する。また、災害時緊急情報に合わせたイラストによる防災・減災のアドバイス機能も追加し、利用者の利便性向上および防災・減災機能の強化を図る。
- ・ 2021年5月の災害対策基本法改正で「避難勧告」が「避難指示」に一本化されるなど、災害発生時にはより早い段階での避難が重要とされている。一方、実際に災害が発生して初めて防災・減災情報に接することも多く、発信された情報を正確に理解・把握できず、逃げ遅れてしまうケースがある。
- ・ 当社では、災害発生時に役立つ情報として自然災害時の建物被害予測や避難所情報などをcmapアプリで提供してきたが、今般、手軽に必要な情報を把握いただくことを目的に、cmapアプリを災害発生時だけでなく平時でも利用いただけるように機能・情報を拡充した。

- ・ 新機能は、生活に役立つ情報（天気、道路渋滞情報等の生活指標を表示）、マイマップ機能（表示される地図（避難先情報・道路渋滞情報・バリアフリー情報）を登録した地点付近に一括切り替え）、防災・減災アドバイス（災害時緊急情報に合わせ、災害別にイラストを用いた防災・減災アドバイスを表示）といったものであり、今後も様々な顧客の声を踏まえ、地域社会や顧客に寄り添った防災・減災に役立つ情報を発信できるよう機能追加を検討していく。

○ 海外旅行専用 LINE 公式アカウント「東京海上日動 たびコンパス」の提供開始 東京海上日動 (23/2/13 ニュースリリース)

- ・ 東京海上日動は、インターネット完結型「リスク細分型海外旅行保険（MARINE PASSPORT）」向けに LINE 公式アカウントとして「東京海上日動 たびコンパス」の提供を開始する。幅広い年齢層で使用されている LINE でサービス提供を行う。2023 年 2 月 14 日以降、当社の MARINE PASSPORT を契約した方に送られる、以下のいずれかのメールに記載の URL から、「東京海上日動 たびコンパス」の LINE 友だち追加をすることで利用可能。
 - ◆ご契約成立時にお送りする「ご契約成立のご連絡」メール
 - ◆出発前日にお送りする「いってらっしゃいませ（ご出発前のお知らせ）」メール
- ・ 主な機能の特徴は以下。
 - (1)あんしんサポート
 - ① 最寄りの提携病院検索【業界初】：GPS を用いて、現在地から半径 10km 以内の、キャッシュレス（お客様による立替払いも不要）治療が受けられる最寄りの提携病院を表示する。Google マップによるルート案内が可能。
 - ② サポートデスクへの連絡・保険金請求：高額な通話料金が発生する国際電話ではなく、LINE 無料通話、フリーダイヤルまたは Web で、サポートデスクへの連絡や保険金請求が可能（24 時間年中無休、日本語で対応）。
 - ③ ご契約内容の確認・変更・取り消し：東京海上日動マイページから顧客自身にて、契約内容の確認や各種変更手続きが可能。
 - ④ よくあるご質問：チャットボットで顧客の疑問を解決する。
 - (2)便利アシスト
 - ① テキスト音声翻訳：テキストや音声で利用できる翻訳サービス。日常会話のみならず、体調不良を周囲に伝える際にも利用できる。
 - ② カメラ de 翻訳：スマホのカメラ機能が起動し、外国語の文字を撮るだけで日本語に翻訳することができる。
 - ③ 持ち物リスト：海外旅行に必要な持ち物チェックリストを確認できる。自由にアイテムを追加することも可能。
 - ④ 渡航先のお役立ち情報：30 の国と地域のお役立ち情報を掲載している。

以上